

佛心

年頭の辞

新しい年のはじめにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年日本をはじめ世界各地で多くの自然災害が起こりました。災害によってお亡くなりになられた方に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。また、これら以外にも紛争やテロ・飢餓などによって、日々多くの方が犠牲となり、困難な生活を送っておられることも忘れてはいけません。

さて、昨年6月に、門主として初めて北米開教区を訪問させていただきましたが、これによって、カナダ・ハワイ・南米・北米の全開教区を門主としてお参りさせていただきましたこととなります。各開教区、また各お寺によって、その歴史や現在の状況は異なりますが、多くのお寺が日本から移住された日本人の方とその子孫によって建立され、護持されてきました。第二次世界大戦をはじめとする様々な困難な状況にあっても、み教えを依りどころとして、お寺を大切に護つてこられた先人の方々に思いを致すとき、今日の私たちにまで浄土真宗のみ教えが受け継がれてきたことの尊く、また不思議なご縁をとでも有り難く思います。

一方で日本人の方が最初に海外へ移住されてから相当の年数がたち、日系人の方々の生活も大きく変化し、また、時代状況も大きく変わりました。そのような中で、親鸞聖人が説かれた浄土真宗のみ教えは、日本人や日系人だけではなく、世界中の多くの方に伝わり、各開教区においても、様々な方がお寺へ来られるようになってきました。それは、浄土真宗のみ教えが、時代や場所を越えた普遍的な教えであるからです。すなわち、様々な悩みや苦しみを抱えるすべての人々を包み込み、摂め取ってくださいさる阿弥陀さまのおはたらきが普遍的であるということです。

本年も自分のこととしてみ教えを聞くとともに、多くの方にみ教えが伝わるよう努めて参りましょう。

2019年1月1日

浄土真宗本願寺派門主

大谷光淳





年頭の辞

旧年中は大変お世話になりました。カナダ開教区を代表して、謹んで御礼と新春のお慶び申し上げます。東京の田町に本部がある、仏教伝道協会というグループがあります。世界へ仏教を広めるのが主な活動なのですが、私の友達が「お寺の掲示板大賞」ということを始め、日本のメディアに取り上げられています。先日は「ゴジヤパン」でも見れる「あさイチ」に出演して紹介していました。幾つか法語を紹介させていただき、新年の挨拶と代えさせていただきます。

「人間みんな 裁判官 他人は有罪 自分は無罪」

「子じもを おくるな 来た道じや 年寄 嫌うな 行く道じや」

「人は 出会いによって育てられ 人生は 別れによって 深められる」

「幸せだから 感謝するのびはなく 感謝できるのが 幸せである」

合掌 青木龍也（カナダ開教区 総長）



新しい年、次の新しい10年へ…

年末年始には、友人や家族を思い出すものです。新年を迎えるにあたり、2019年に別れを告げ、2020年がもたらすものに期待を膨らませます。この一年の間に私たちは家族や友人を失いましたが、新しく育んできた友情をより深めていくことを楽しみにするのです。

私たちの寺院のカレンダーはとても忙しいものです。過去二年を見返して、達成出来たことを見直し、そこから新しい年の計画を立てます。2019年、我々は再度大きな「こぶ」に直面しました。その「こぶ」から回避すべく道を案内してくれたすべての人に感謝いたします。そして、すぐに正規の道に戻ってこられることを願っています！

今年(2020年)、トロント本願寺は創立75周年を迎えます。御門徒方とこれまで支援してくれた方々が長年トロント本願寺に与えてきた貢献に深く思いを馳せ、感謝する時です。お祝いの計画は着々と進行中です！新しい10年が始まるに際して、慎重な検討と議論の末の変更に対しては、しっかりと受け入れる必要があることを認識しなければなりません。誤った解釈や理解を防ぎお互いを尊重するため、コミュニケーションはさらに重要となります。

昨年(2019年)、私と一緒に寺院の護持発展に尽力なさってくれた皆様に感謝いたします。私たちは素晴らしいチームを作りあげました。2020年が、皆様にとって健康と幸福に満ち溢れたものとなることを願っています。

合掌

ダーン・アンザイ